

(問題提起)

公開映写会で画面をビデオ撮りする人

会長 合原 一夫

私のところにはあちこちのクラブから会報が送られてきて、大変興味深く拝見しています。クラブの特徴や性格、会員さんの集まり具合、どんな作品が出ているか、コンテストに誰が入ったとかうれしい報告も。

その中で一つ気になったことは、公開映写会で観客の一人がスクリーンに向けてビデオ撮りをしているのに気付き、撮るのを止めさせた上に、撮った映像を目の前で全部消させた、という記事でした。映画館での撮影は営業の妨害であり、海賊版を作って売る目的かもしれないので、これは完全にアウトです。けれども、アマチュアの無料公開映写会での会場で撮影を禁止され消去までさせられた方の気持ちは、どうなんだろうかと思ったりします。その人はビデオ好きで参考にと撮ったかも知れないし、帰って奥さんに見せたかったのかも知れません。又、クラブの例会で皆と参考作品として上映する目的だったことも考えられます。いずれにしても海賊版を作って金儲けをしようと企んだという事は考えられません。又ネットに流して自分の手柄にしようとするのも考えにくい事です。いずれにしても、そのビデオ撮りした人は二度とそのクラブの発表会へ行かないでしようが、少なくともビデオ作品づくりをを止めてしまうことだけはしないでほしいと思います。

私たちの発表会でも撮影をする人は結構存在します。初めの頃は受付の係員に撮ってもよいかと断っていましたが、今は撮りたい人はどうぞと云っています。少しでもビデオ作りの参考にしてもらえればよいし、家に帰って家族に見せて楽しんでもらってもよいという大らかな気持ちであります。これで何か問題が起きたとか、出品者が著作権云々で文句を云う人も今のところ居ません。海賊版つくって金儲けの種にする人など考えられないことです。とにかくビデオ好きな人間を増やし、発表会も盛大にやるにはどうしたらよいか、考えて対応したいものです。

5月例会のお知らせ

■第2例会:第3木曜 5月18日(木)13時より、課題コン「語」作品お持ち下さい。○○旅物語など結構素材はお持ちではないでしょうか。残り時間は従来通り、助言を受けたい作品、参考作品上映など。

■通常例会:第4土曜 27日午後6時より難波市民学習センターにて開催。どうぞお越しください。

楽しみな一泊撮影会

今年はお岡本世話役の担当で、和歌山県湯浅・有田方面の5月13日(土)～14日(日)に行われるが、撮影対象も多くどう纏めるか苦勞するかも知れない。中でも中将姫来迎会の二十五菩薩練供養は圧巻だと思うが午後3時からの逆光だというので、撮り方に工夫を要しよう。他にも色々と被写体があり楽しみな撮影会である。JR天王寺駅発8時43分紀州路快速(和歌山行15番ホーム)に遅れないように。和歌山駅で紀勢本線御坊行(5番ホーム)に乗換え、湯浅駅10時58分着。皆さんお忘れなく。

■名簿訂正

高瀬辰雄さん 郵便宛先の住所表記を「604-8414(従来通り)京都市中京区三条千本西入」に変更をお願いします。

4月例会レポート

桜の花も散り気候もよくなってきた例会日の22日の土曜日の夜、もっと多くの会員さんが来られるかと思ったが、ようやく19名からスタートして結局22名の集まりと11本の作品だった。司会、合原、書記、河合、上映、岡本、録画、江村、受付、宮崎、森下、掲示、紙本の各氏が担当して進行した。

出席者:有村、稲田、江村、岩井、岡本、紙本、河合、合原、柴辻、関、高瀬、坪井、西村(亀)、華岡、前田、宮崎、森口、森下、山本、山城、西條、弓取の22氏。

■作品上映(今月の講評は河合世話役)

1.小島要塞ちよつとみ(一寸見)旅(BD)

紙本 勝 7分45秒

小島(おしま)は、瀬戸内海のほぼ中央、「しまなみ海道」の馬島バスセンターで降りると、要塞の島小島が望めます。明治30年初頭、日本陸軍はここに要塞を築いてロシア海軍の内地侵攻を防ごうとしました。しかし旅順港閉鎖の成功と、日本海海戦でロシアバルチック艦隊を撃破した結果、この要塞は使われることなく大正11年に廃止。現在は周囲3キロ、標高100メートルの公園となっています。砲台跡3カ所、発電所跡、

兵舎跡、弾薬庫跡など映像でくまなく紹介されます。使われないうちにその役目を終え、貴重な遺産となったこの島を去るにあたって、作者は「要塞などは必要ない時代であって欲しい」と語っておられるのが印象的です。

2.余部・百手の儀式(BD)

江村 一郎 7分50秒

ご存知余部の鉄橋に2輛連結の列車が走り、日本海からの厳冬の波が打ち寄せています。ここ余部の御崎の部落から、素朴な弓矢を捧げ持った村人たちが、“控えー 控えー”の声とともに坂道を上ってきます。ここは平家の落人伝説を持つ部落で、今日1月28日は、平家にまつわる「百手(ももて)の儀式」という神事が行われるのです。平家落人伝説を持つ土地は、四国の祖谷谷や九州の椎葉村など山深いところが有名ですが、日本海沿岸にも伝えられていました。小さな子供も母親の手に曳かれ、或は負ぶさって村を挙げてのお祭りです。行列はやがて内神社に到着し神事が始まります。神木に掲げられた的に若人が矢を射り、平家の再興を願うとか。武道の弓道競技とは違い、思い思いに前屈みになって、何とか的に当てようとする意欲が滲み出て、まことに好感の持てる素朴な神事と感じいました。

3.万部おねり(BD)

前田 茂夫 7分52秒

南大阪・平野の融通念仏宗大本山「大念仏寺」で行われる「阿弥陀経万部読誦・二十五菩薩聖聚来迎会」を、俗に「万部お練り」と言っているようです。(当麻寺のお練りは「聖聚来迎練供養会式」が正式名です)「その人の命が終わるときに当たって、私が極楽浄土から二十五菩薩を従えて、その人を迎えにくるであろう」という阿弥陀仏の願いを、具体的に表現した儀式だといわれています。平安時代に入って、そろそろ仏法が衰え、世の中が乱れる「末法の時代」に入ったといわれるようになりました。仏教界

では浄土教の教えを信ずれば、西方の極楽浄土で往生出来ると説かれるようになって来ました。万部お練りが何時頃から始ったのか詳らかにしませんが、何れにせよこのような時代背景を基に、「当麻寺の練り供養」を模して始ったと伝えられ、浄土信仰・阿弥陀信仰が、今に継がれ、続けられて来ている様子が、このお練りを拝見して伺い知ることが出来ました。

4.愛宕街道の旅(BD)

宮崎 紀代子 10分24秒

真っ青に晴れ上がった嵐山渡月橋から作者の「愛宕街道の旅」は始まりました。たわわに柿が実り、外人も多く訪れて来ている落柿舎へ。そこで作者はものにした一句を披露。“柿熟れて 主なき庵 人絶えず 紀” 嵯峨野から愛宕神社の門前町「鳥居本」へ通ずる愛宕参詣道は、訪れる人並みが絶えないようです。平家物語に登場する「祇王と仏御前」ゆかりの「祇王寺」を訪れ、苔むした「化野の念仏寺」、そして旅の最後は、愛宕神社の門前町として栄え、今は「伝統的重要建造物群保存地区」に指定されて素晴らしい佇まいを見せてくれている「鳥居本」でした。

5.公園の桜(BD)

有村 博 4分33秒

作者のお宅から徒歩で5分の、東大阪市の八戸ノ里公園では桜が満開でした。快晴に恵まれて朝早くから、車椅子の3家族が揃って桜を追って園内を散策、やがて自転車を手繋いで訪れる市民も増えてきました。

ここは「ソメイヨシノ」をはじめとして桜の種類が極めて豊富です。種類が違えば当然花の咲く時期も違います。蕾が綻び始めた木があるかと思えば、蕾が割れて咲き始めた木があります。そして今や満開と多彩な彩りを見せて呉れている樹など。作者はそれらを、遠景、中景、近景、アップと撮り分け、様々な点景を交えて、単純になりがちな「桜」という題材をうまく纏めあげられました。何処にでもある題材を、たった4分半と

いう短い時間で、堪能させて頂いた素晴らしい作品でした。

6.アイスランド南海岸地方(BD)

華岡 汪 9分2秒

アイスランドは超寒いところだと思っていましたが、「メキシコ暖流が流れ込んでいてそう寒くない」のだそうです。しかし、一夜明けたホテルの朝は、午前9時というのに真っ暗、超高緯度の国にいるのだということを実感させられました。日の出は午前10時25分とか。

今回の観光の目玉は、セリヤラントスフォス滝、スコウガル滝の二つで何れも落差60m級の巨大なものですが、余り変化はなく、私の興味を惹きませんでした。代わりに私が興味を覚えたのは、高緯度地帯の故か？低い位置から太陽の光が注がれて、雄大な大地に様々な陰が醸し出している風景でした。何時の日か、訪れて数日滞在、撮影してみたいと意欲は湧き上がって来ましたが、「寄せる年並にやっぱり無理か」と今は諦めの心境です。

7.阿里山森林鉄道(BD)

山本 正夢 12分40秒

私の生家から2キロばかりのところに、檜原神宮があります。皇紀(何と古めかしいこしか)2600年を迎えるのに大騒ぎしていた昭和15年、私が小学4年生のころです。大鳥居と社殿を作り直すのに、国内では檜材の手当がつかず、当時植民地だった阿里山で見つかったと運び込まれました。それ以来阿里山とはどんな山奥かと興味津々でした。登山鉄道、修復中のところは車に乗り換え、更に鉄道の軌間が狭くなって樹齢1600年の檜が出てきました。霧の中の古道を歩いてやっと檜林へ、その間5キロあるとか。翌朝は玉山の日の出見物です。玉山は植民地時代、「新高山」と呼ばれて、富士山より高く日本の最高峰でした。そういえば日米開戦で出た、真珠湾攻撃命令は「ニイタカヤマノボレ」でした。皆さん覚えておられますか。

8.北スペインのレオン(BD)

弓取 克弘

13分

スペインのレオンは、旧レオン王国の首都で、2000年の歴史の中で素晴らしい建築が数多く残っているようです。中でもレオン大聖堂のゴシック建築とその薔薇窓は世界最大級と言われ、作品の前半はその映像で占められています。司会者からは、この薔薇窓を最後の盛り上がりを使う構成にしたらどうかとの助言がありました。後半は、サン・マルコス修道院を改修したホテル(パラドール*)に宿泊して、贅沢な一夜を過ごされたようですが、宿泊に関する映像は出てきません。ならば寧ろ、前半は町の様子やこの修道院の建築でレオンの町を紹介され、後半にレオン大聖堂とその薔薇窓(精々1分半位に短縮して)で締めくくられては如何でしょうか。(※ウイキペディアによれば、スペイン語圏にある高級ホテルチェーン)。

9.円空仏を訪ねて(BD)

高瀬 辰雄

11分

高瀬さんは「円空彫り」の作家を追って2つほど作品を披露されて来ました。それが最近になって、円空仏の実物を見たくなり、円空ゆかりの岐阜羽島、飛騨高山、岐阜関を訪ねられ、この作品を作られました。

たまたま、「円空の素顔とその作品について」簡潔に記された文章を、4年前国立博物館で発行された「円空特別展図録」の中で見つけました。よく纏められていると思い、参考までに、以下に引用、紹介しておきます。円空(1632~95)は美濃の國に生まれ、寛文6年(1666)以降、30年各地を巡って修行を続け、造仏に励みました。その足跡は近畿から遠く北海道まで及びますが、特に愛知県、岐阜県に集中して残っています。円空が作った仏像は現存5千体を超えていると言われています。円空仏は一見素朴に見えますが、慈愛と迫りに満ちています。それは円空が、山村で田畑や山の仕事に携わっていた人々の切実な祈り一恵みの雨、豊かな稔り、無病息災など一に寄り添う仏

像を造ったからにはほかありません。それゆえ、円空は人々から「円空さん」と親しみをこめて呼ばれていました。(後略)

10.Spring has Come (BD)

芝辻 英一

10分

“Spring has Come”をインターネットで検索すると、「緑が眼に飛び込んでくるようになり、今まさに春が飛び込んで来た」というイメージだと言います。

然るに、何故この映像では“心躍る春の気配”を感じないのででしょうか。少し考えてみることにしました。先ず青空でなく、どんよりと曇っている。天気が余り良くなかったのでしょうか。また、桜は満開のようですが、樹種がソメイヨシノ一本で、花色に変化がない。しかも天候が良くないので、花の色も冴えない。加えて、クルーズの乗船者の表情が全般に暗く、固い。心躍る明るさがないことも影響しているかも知れません。

ということで、このクルーズの事業案内を調べて見ると「この環濠クルーズの狙いは、堺の歴史的遺産を見、触れて頂くことにある」とあります。ということは映像の内容から見ても題名に無理があったかも知れない、と感じました。

11.妻恋道中(BD)

西村 亀雄

3分30秒

新人スター(62才)西村亀之助(作者)が、自作、主演する、歌謡映画の登場です。制作場所は東映太秦映画村。暖簾を潜って颯爽(?)と登場、若い女性に囲まれて主人公はご機嫌です。(初めてのチャレンジだそうです。)

「一度やってみたかった股旅姿」のテロップが出て来て、広場での立ち回りもだんだん板についてきます。お休みどころでは、「まあ一杯飲みねえ！」との声が欲しかったところ。クライマックスは、主演の西村亀之助の立ち回りの独演を、カメラマンの奥様がアップでフォロー、家族挙げての楽しい一日でした。